

手塚治虫の名作が、大型スクリーンに甦る!



文部科学省 選定

www.legendoftheforest.com

©Tezuka Productions

未来の子供たちのために

手塚治虫が生涯を掛けて創り上げた未完の名作『森の伝説』が、
チャイコフスキーの美しい旋律にのり大型スクリーンに蘇える!

『森の伝説』とは

巨匠・手塚治虫が生涯追い求めたテーマ「生命の尊さ」と「自然破壊への警鐘」を凝縮したアニメ・ファンタジー『森の伝説』は、チャイコフスキーの『交響曲第4番』（『ある森の伝説』）の調べにのり、アニメ草創期からテレビ・アニメに至るアニメーションの歴史をパロディとして織り込んだ手塚アニメの集大成。構想から10数年の歳月を経て、全編4楽章のうち「第1楽章」と「第4楽章」のみが1987年に完成。

ストーリー

第1楽章:

モモンガー家に大勢の子供が生まれたが、その中の一匹・ムサが地上に落ちてしまう。森の楠に助けられたモモンガのムサは生き延び、風来坊で気まぐれな若者へと成長していく。やがてムサは恋に落ちるが幸せも束の間、楠を伐採しようとする人間により恋人を殺されてしまう。愛するものを失ったムサは、復讐すべく勇敢にも人間に立ち向かっていく。ムサの成長していく姿を様々なスタイルで描くことで、アニメ誕生からの歴史をパロディ風に綴っている。

第4楽章:

ブルドーザーが木を倒し、パワーショベルが地面を掘り返す。都市建設の準備が進み、森は機械に壊されていく。自然を守るため、森に住む動物や妖精たちが集って協議する。森を愛する住人たちの代表として妖精たちは人間との交渉に向うが…。森の住人を丸で描き、森を破壊する人間たちを直線で描き分けることで、丸と線との対比を表現している。

大型映像作品『森の伝説』

"Legend of the Forest: Special Edition"

カラー・36分・15p/70mm・10p/70mm・8p/70mm

原作: 手塚治虫 製作総指揮: 原 仁・松谷孝征

製作: 清水義裕・森 孝司 監督: 松本直規

共同製作: (株)手塚プロダクション・(株)葵プロモーション

大型映像化にあたって

手塚治虫の実験アニメーションとして遺作となった『森の伝説』を、21世紀の子供たちに伝えるため、大型映像のプロジェクトは始まった。最新のデジタル技術によって手塚治虫のオリジナルを余すところなく再現。通常の映画よりも大きなスクリーンで観ることにより、手塚治虫の細部へのこだわりがより一層明らかになる。当時モノラルで録音されていた音楽を、今回チェコ・フィルハーモニー管弦楽団に演奏を依頼、映像も音楽も大型画面に負けない作品に蘇った。アニメーションの動きに合わせてオーケストラが演奏するという難しい作業を、指揮者マリオ・クレメンツ氏が見事に成し遂げ、手塚治虫とチャイコフスキーの夢の競演が実を結んだ。

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

1896年に結成されたチェコ・フィルは、100年以上に渡ってヨーロッパを代表するオーケストラとして名声を得ている。数多くの映画音楽を手掛けるほか、現代音楽にも精通。日本でのツアーも幾度となく行っており、国内にも多くのファンを持つ。

特別出演! ジャングル大帝レオ

台詞のない音楽主体の作品を子供たちに興味を持ってもらえるよう、ジャングル大帝レオがガイダンス・アニメーションに登場。アニメを通じて自然と生命の大切さを描いた手塚治虫のメッセージを21世紀の子供たちに伝える。

手塚治虫とO

手塚治虫は丸が大好きだった。小学生の時、手塚が何気なく黒板に描いた円は、先生がコンパスを使って描いた円よりも、より綺麗で完璧な円であったと、後々までクラスメートたちの語りぐさとなった。手塚ワールドのキャラクターの多くは、この丸から生まれている。



©Tezuka Productions

ゴールデンウィーク 特別上映

2003年 4月26日(土) ~ 5月9日(金)

上映時間 劇場にお問合せ頂くか、公式ホームページ〈<http://www.legendoftheforest.com>〉にてご確認ください

料金(税込) 一般/1,300円 大・高・中学生/1,000円 小学生(4才以上)/600円 シニア(60才以上)/1,000円

[先着1,000名様にオリジナルグッズをプレゼント!!]

メルシャン品川アイマックスシアター

品川プリンスホテル
エグゼクティブタワー6階
TEL 03-5421-1114

